



Title	Trade Policy, Lobbying and Heterogeneous Firms [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review]
Author(s)	QASIM AHMED WAQAR
Citation	北海道大学. 博士(経済学) 甲第14027号
Issue Date	2020-03-25
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/78630">http://hdl.handle.net/2115/78630</a>
Rights(URL)	<a href="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/">https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/</a>
Type	theses (doctoral - abstract and summary of review)
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	Qasim_Ahmedwaqar_review.pdf (審査の要旨)



[Instructions for use](#)

学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（課程）

氏名： Ahmed Waqar Qasim

審査委員	主査	教授	今井晋
	副査	教授	板谷淳一
	副査	准教授	須賀宣仁

学位論文題名

**Trade Policy, Lobbying and Heterogeneous Firms**  
(貿易政策、ロビー活動および非同質的企業)

本研究科に所属している主査の今井および公共経済学の専門家であり副査の板谷淳一先生、国際経済学の専門家であり副査の須賀宣仁先生を審査員として Ahmed Waqar Qasim 氏の学位請求論文に関する審査委員会を令和2年2月21日に実施した。最初に論文の要約を簡単に述べ、次に審査委員会の評価を述べる。

本研究では生産性の異なり、参入、退出、輸出の意思決定を最適に行う企業 (heterogeneous firms) のロビー活動が政府の貿易政策の決定にどのような影響を与えるかを研究した。

本論文の第2章では、企業のロビー活動が政府の貿易政策の決定にどのような影響を与えるかを理論的に研究した。ロビー活動の影響を検討するために、企業のロビー活動が存在しない経済における最適関税政策および最適輸出税を導出し、次に、企業のロビー活動を許した経済における関税政策および最適輸出税を導出し、両者を比較検討している。

第3章では、第1章で展開されたモデルを拡張して、企業がロビー活動を行うか否かを内生化した2段階モデルを構築した。

第4章では、前2章は2ヶ国貿易モデルを想定しているが、外国政府は能動的に貿易政策を行わない主体として扱われていた。本章では、自国政府と外国政府の両方が能動的に貿易政策を採用する2ヶ国貿易モデルを構築した。

第5章では、生産性に関して非同質的企業が、ロビー活動を行う状況で新しい生産技術の採用に関するインセンティブがどのような影響を受けるかを分析している。

第2章は Economics Bulletin に掲載予定であり、博士号授与の資格を満たしている。

したがって、当審査委員会は全会一致でもって、Ahmed Waqar Qasim 氏から提出された学位請求論文が博士号（経済学）の学位授与に値する水準であると判断した。